

IV. 参考資料

(1) 地球環境研究センター印刷物一覧	28
(2) 地球環境研究センターニュース記事	29
(3) 記者発表	31
(4) セミナー・講演会での発表	33
(5) 委員会・検討会一覧	34
(6) 職員構成	38
(7) 関係規程	42
(8) センターの沿革	43

(1) 地球環境研究センター印刷物一覧

N o	名 称	作成年月	部数	取扱い	概 要
CGER 1-90	地球環境研究 検討会報告書	平成 3 年 3 月	1000部	公表	平成 2 年度12月に「地球環境研究 検討会」を設置し、平成 2 年度に おける検討会の成果として、地球 環境研究問題に関する望ましい研 究体制について、各研究者個人の 立場から自由に執筆。
CGER 2-90 3-90	アジア太平洋地域 における地球温 暖化問題に関す る研究ワークショップ サマリー ・和文 ・英文	平成 3 年 3 月	1500部 3000部	公表	アジア太平洋地域の研究者を招き、 我国の関係分野の研究者とともに 地球温暖化による影響と防止対策 に関する国際的な取り組みに貢献 するために1991年3月18日～21日 にかけて開催された「アジア太平洋 地域における地球温暖化問題に関 する研究ワークショップ」のサマリー。
CGER 4-90	生物モニタリングに 関するアンケート調 査結果報告書	平成 3 年 3 月	100部	公表	野生生物種の減少（種の多様性の 減少）など生物を対象とした地球 環境モニタリングについて、その現状 及び問題点、生物を対象とした地 球環境モニタリングに対する認識など、 国内の生物に関係する研究者に広 くアンケート調査を実施し、今後のあ り方等を検討するための基礎資料 として作成した。

地球環境研究センター関係印刷物

- ① 記者レク、記念式典等に際し臨時に配布したもの
 - ・ 地球センター発足に際しての記者レク資料（B4 2頁）
 - ・ 同 英文資料（A4 2頁）
 - ・ 地球環境研究センター紹介用冊子（A4 12頁）
 - ・ 地球環境研究センター紹介英文レター（A4 1枚）
- ② 広く一般を対象としたもの（現在も随時配布中）
 - ・ 地球環境研究センターパンフレット（A4 両面 三折）
 - ・ 同 英文パンフレット
 - ・ 地球環境研究センターニュース

(2) 地球環境研究センターニュース記事

vol. No.	内 容	印刷部数
1 - 1	<p>巻頭言 「世界に誇れる国際機関を目指して」 - 国務大臣地球環境問題担当 環境庁長官 北川石松 -</p> <p>特集 「地球環境研究センターGO！」</p> <p>推進費関連コーナー（地球環境研究者交流会議についての案内）</p> <p>M. & D. B. シリーズ 第1回 「オゾン層・気候変動観測結果のデータベース化について」</p> <p>ボックス 「ポストIPCCの困難を予感させたスウェーデン会合」</p>	2000部
1 - 2	<p>速報 「地球環境研究者交流会議開催情報第2弾」</p> <p>「地球環境問題への新たな挑戦」 - 市川 惇信 -</p> <p>1990.10.26「地球環境研究センター会所記念講演会」報告</p> <p>M. & D. B. シリーズ 第2回 「地球環境データベースの整備について(1)」</p>	2000部
1 - 3	<p>推進費関連コーナー（特別版） 「地球環境研究総合推進費内示」</p> <p>M. & D. B. シリーズ 第3回 「地球環境データベースの整備について(2)」</p> <p>ボックス 「第2回世界気候会議報告」 - 西岡 秀三 -</p> <p>環境研究センター特別報告 「大気汚染とエネルギー」(Dr. M. E. Berlyand)」</p>	2000部
1 - 4	<p>「地球環境研究センター、平成3年度よりハッピー！！」</p> <p>----- 平成3年度予算内示</p> <p>特集「1990.12.20,21 第1回地球環境研究者交流会議開催」</p> <p>M. & D. B. シリーズ 第4回 「地球環境データベースの整備について(3)」</p> <p>M. & D. B. シリーズ（特別版）「地球環境モニタリング計画骨子」</p>	2000部
1 - 5	<p>アジア太平洋地域における地球温暖化問題に関する 研究ワークショップ開催</p> <p>「地球環境研究者交流会議におもう」 - 市川 惇信 -</p> <p>M. & D. B. シリーズ 第5回「地球環境モニタリングQ & A (Q1～2)」</p>	2000部
1 - 6	<p>巻頭言 「地球環境研究センターと地球環境研究グループ」</p> <p>- 国立環境研究所長 小泉 明 -</p> <p>M. & D. B. シリーズ 第6回「地球環境モニタリングQ & A (Q3～4)」</p> <p>地球環境研究センター活動報告</p>	2000部

2 - 1	<p>アジア太平洋地域における地球温暖化問題に関する 研究ワークショップ開催 推進費関連コーナー「紫外線増加の人の健康に対する影響」 に関するワークショップ M. & D. B. シリーズ第7回「地球環境モニタリング Q & A (Q5)」 トピックス 「気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第2ラウンドの開始-(1)」</p>	2000部
2 - 2	<p>地球環境研究センターの軌跡(平成2年度版)<平成2年度活動報告> M. & D. B. シリーズ第8回「地球環境モニタリング Q & A (Q6~Q7)」 トピックス 「気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第2ラウンドの開始-(2)」</p>	2000部
2 - 3	<p>G R I D - Tsukuba発足する! - 社会環境システム部 安岡 善文 - 波照間-モニタリングステーション概要 - 地球環境研究センター観測係長 荒木 真一 - 「西岡秀三おおいに語る!」 (1991年6月5日: 国立環境研究所研究発表会より)</p>	2000部
2 - 4	<p>巻頭言 (財)地球・人間環境フォーラム理事長 (元環境事務次官) 岡崎 洋 特集/地球環境研究センターを支える人達 (その1)「地球環境モニタリングはどのような経緯で始められ どのような発展が期待されているのか。」 - 井上 元 - (その2)「雑感-地球環境研究センターで3ヶ月暮らして-」 - 植弘 崇嗣 -</p>	2000部
2 - 5	<p>スーパーコンピュータ決まる C G E R - R e p o r t ① 「地球環境研究をいかに進めるか-研究者達の意見(1)-」</p>	2000部

(3) 記者発表

地球環境研究センターの発足について（平成2年9月27日）

人類の生存基盤そのものを脅かす重大な問題となっている地球環境問題に対し、実行ある取組みを行うためには、人類の諸活動が地球環境に及ぼす影響等を科学的に解明し、的確な環境保全対策を講ずるための基盤を早急に整備することが不可欠。この分野で、我が国は、国際的地位に応じた役割を積極的に果たすことが重要。

このため、我が国の地球環境研究の中核拠点として、「地球環境研究センター」を設置する。

当研究センターでは、従来個別に実施されてきた地球環境研究を、関連研究者の結集のもとに国際的・学際的観点から組織化・体系化するとともに、研究に必要な基礎データを提供するためのモニタリングの実施、データベースの提供、研究支援のための大型・大容量のコンピュータの整備等により、地球環境研究の総合的な推進を図り、地球環境問題への適切な対策の立案に資することとする。

第1回地球環境研究者交流会議について（平成2年12月7日）

近年、地球環境の保全に対する関心の高まりの中で、地球規模の視点に立った研究や観測の充実が望まれている。環境庁では、このような要請に応えるため、本年7月の国立公害研究所から国立環境研究所への改組に引き続き、本年10月1日付けで新たに同研究所内に「地球環境研究センター」を発足させ、国際的な協力の下、学際的、省際的な地球環境研究者の交流の場の提供や地球環境研究の総合化、データベースの提供等による研究支援及び地球環境の長期モニタリングを行うこととした。

そのような中、地球環境研究センターでは、地球環境研究者の交流の場として、標記会議を開催するものである。

本会議は研究分野、所属する研究機関等を問わず広く地球環境研究に取り組み、あるいは、今後取り組もうとしている研究者に一堂に会して、地球環境研究の現状や今後の展望についての発表及びそれらについての討論など地球環境研究の交流促進を通じて地球環境研究の発展に寄与することを目的としている。

なお、標記会議の場に出された研究者の意見等は、同会議の結果報告としてとりまとめ、地球環境研究総合推進費などを利用した今後の地球環境研究に反映していくこととする。

また、同会議は平成2年度より毎年1回程度開催することとしている。

GRID-Tsukuba（平成3年5月29日）
 国立環境研究所のUNEP/GRIDネットワークへの加入について

ケニア国ナイロビにおいて開催されているUNEP管理理事会に際し、5月29日に行われたUNEPのトルバ事務局長と日本政府代表小野環境政務次官との会談の席上、国立環境研究所地球環境研究センタ

ーを、UNEPの情報データベース機構である、GRIDのセンターに指名し、活動を開始する旨の合意が成立し、同センターは先進国の機能的センター「GRID-Tsukuba」として活動することとなった。

平成3年度地球環境モニタリング事業計画（平成3年6月13日）
 ー国立環境研究所地球環境研究センターが実施する地球環境モニタリング計画ー

標記モニタリング計画については、平成3年5月10日（金）に開催された第1回地球環境研究等企画委員会において、審議の上承認されたところであるが、今般、平成3年度地球環境保全に関する関係閣僚会議において決定される「地球環境保全調査研究等総合推進計画」に盛り

込まれた
 本事業計画のうち主なものは以下の通り
 ・波照間モニタリングステーションの建設
 ・オゾゾンレダーによる本格的モニタリングの推進
 ・定期航路を活用したモニタリングの開始

スーパーコンピュータシステムの落札について（平成3年8月19日）

平成3年6月28日付け官報において国立環境研究所から一般競争入札に付されたスーパーコンピュータシステムについては、本日14時に国立環境研究所に

おいて開札を行い、性能と価格の両面からの総合評価の結果、日本電気株式会社が落札価格52,844,150円（月額借料・消費税を含む）で落札した。

(4) セミナー・講演会での発表

年月日	会合の名称及び発表内容	開催場所	地球センター 出席者
1990 8. 9	環境科学会 講演会 題目：地球温暖化	東京	西岡 秀三
8.20	地球温暖化問題状況調査及び 温暖化対応策検討会議	スウェーデン オーストリア	西岡 秀三
10.30	第2回 世界気候会議 題目：IPCC WGII Section 5 報告	スイス (ジュネーブ)	西岡 秀三
11.26	環境科学シンポジウム 題目：地球温暖化に関する内外におけ る取り組み	東京	西岡 秀三
12. 2 ～ 9	全米地理学会IPCC報告会議 題目：IPCC WGII 報告	アメリカ (サンフランシスコ)	西岡 秀三
1991 1.10 ～ 15	気候変動に関するドイツ財団会議	イギリス (ドイツ)	西岡 秀三
1.19	第17回 地球保全・公害防止研究発表会 における講演 題目：地球環境問題への研究の取り組み	東京	西岡 秀三
1.29	温暖化アジアセミナー	名古屋	西岡 秀三 荒木 真一
2. 1	気候変動による環境・社会影響に関する 国際会議 (CIES)	つくば	西岡 秀三 井上 元 他
3.18 ～ 20	IGAC;第2回東アジア/西太平洋地域研究 会議	つくば	井上 元
4.10 ～ 14	国連大学; Global Environment and Human Health研究研修センター設立に関する 会議	フランス (パリ)	西岡 秀三
5.21	「21世紀の環境情報」国際フォーラム 題目：環境情報の制度的側面	カナダ (モントリオール)	西岡 秀三 森口 祐一
5.24	地球環境変化に関する社会科学研究的な ためのデータベースについてのアジア太平 洋会議	ハワイ (ホノルル)	森田 恒幸
6.10 ～12	地球温暖化と持続的発展に関する国際会 議 題目：日本における地球環境研究体制	タイ (バンコク)	森田 恒幸
6.12	「都市と地球環境」シンポジウム 題目：メガロポリス東京の例	カナダ (トロント)	西岡 秀三
6.26	環境及び経済に関する全国円卓会議 題目：日本の環境保全技術について	カナダ (オタワ)	西岡 秀三
6.27 ～28	取引可能な排出権に関するワークショッ プ	フランス (パリ)	森田 恒幸
7.22 ～26	IIASA;地球環境モデリングに関するワー クショップ	オースト リア	甲斐沼美紀子
7.23	自然資源勘定に関するワークショップ	東京	森田 恒幸
9.12	平成3年 電気・情報関連学会連合大会 題目：CO ₂ 規制をめぐる国際情勢	東京	西岡 秀三

(5) 委員会・検討会一覧

① 地球環境モニタリング関係

地球環境モニタリングの実施に際し、地球規模での幅広い対象に対し、各々の対象を扱う専門的、代表的な方々に参画いただき、地球環境モニタリングのあり方等について専門の立場から検討することにより、地球環境モニタリングの一層の推進を図るために「地球環境モニタリング検討会」を設置した。

なお、上記検討会の名称及び構成については、平成2年度と平成3年度とでは若干異なっているため、下記の構成については、平成3年度のものを記載する。

また、開催回数については、年度毎、分科会・専門分科会毎に異なるため記載は省略する（平成2年度の名称は「地球環境モニタリング連絡会議」とした。）

－ 機器開発・精度管理分科会 －

* 成層圏機器開発・精度管理専門分科会

・構成メンバー

伊藤 朋之（気象庁観測部室長）

座長 岩坂 泰信（名古屋大学太陽地球環境研究所教授）

・幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所地球環境研究グループ 中根英昭 総合研究官

* 対流圏機器開発・精度管理専門分科会

・構成メンバー

大山 峰吉（沖縄県公害衛生研究所理化学部長）

金城 義勝（ ” ” 理化学部主任研究員）

座長 中澤 高浩（東北大学理学部大気海洋変動観測研究センター助教授）

・幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所大気圏環境部 井上元 室長

その他、海洋機器開発・精度管理専門分科会及び生物機器開発・精度管理専門分科会を設置する予定。

－ 成層圏モニタリング分科会 －

* オゾンライダーモニタリング専門分科会

・構成メンバー

座長 岩坂 泰信（名古屋大学太陽地球環境研究所教授）

小川 利紘（東京大学理学部教授）

・ 幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所地球環境研究グループ 中根英昭 総合研究官

* 有害紫外線モニタリング専門分科会

・ 構成メンバー

伊藤 朋之（気象庁観測部室長）

座長 岩坂 泰信（名古屋大学太陽地球環境研究所教授）

小川 利紘（東京大学理学部教授）

・ 幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、現在当研究所地球環境研究センター 植弘崇嗣 研究管理官

－ 対流圏モニタリング分科会 －

* 航空機モニタリング専門分科会

・ 構成メンバー

座長 小川 利紘（東京大学理学部教授）

鶴田 治雄（農業環境技術研究所室長）

中澤 高清（東北大学理学部大気海洋変動観測研究センター助教授）

・ 幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所大気圏環境部 泉克幸 主任研究員

* 波照間観測所専門分科会

・ 構成メンバー

座長 植田 洋匡（九州大学応用力学研究所教授）

大山 峰吉（沖縄県公害衛生研究所理化学部長）

金城 義勝（ ” 理化学部主任研究員）

下 道國（名古屋大学理学部助教授）

菅谷 芳雄（西表国立公園管理事務所専門官）

竹内 正（環境庁大気保全局課長補佐）

中澤 高清（東北大学理学部大気海洋変動観測研究センター助教授）

・ 幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所大気圏環境部 内山政弘 主任研究員

* 北域観測所専門分科会

・ 構成メンバー

井上 雄三（北海道大学工学部助手）

座長 太田 幸雄（北海道大学工学部助教授）

大喜多敏一（桜美林大学国際学部教授）

辻井 達一（北海道大学農学部教授）

中澤 高清（東北大学理学部大気海洋変動観測研究センター助教授）

富士田裕子（北海道大学農学部附属植物園助手）

・ 幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所大気圏環境部 内山政弘 主任研究員

* 定期航路モニタリング専門分科会

・ 構成メンバー

座長 中澤 高清（東北大学理学部大気海洋変動観測研究センター教授）

・ 幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所大気圏環境部 井上元 室長

* 発生源モニタリング専門分科会

・ 構成メンバー

井上 雄三（北海道大学工学部助手）

岩田 理樹（北海道環境科学研究センター環境保全部研究職員）

鶴田 治雄（農業環境技術研究所環境管理部室長）

平野耕一郎（横浜市環境科学研究所大気部門主任技術吏員）

平木 隆年（兵庫県公害研究所第1研究部主任研究員）

座長 陽 捷行（農業環境技術研究所環境管理部科長）

・ 幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所地球環境研究センター観測係

－ 海洋モニタリング分科会 －

* 日韓フェリーモニタリング専門分科会

・ 構成メンバー

津田 良平（近畿大学農学部教授）

座長 半田 暢彦（名古屋大学水圏科学研究所教授）

・ 幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所地球環境研究グループ 原島省 主任研究員

* 外洋モニタリング専門分科会

・ 構成メンバー

座長 半田 暢彦（名古屋大学水圏科学研究所教授）

・ 幹事及び書記

研究所内研究員等から構成

代表は、当研究所地球環境研究センター 植弘崇嗣 研究管理官

－ 陸水モニタリング分科会 －

・ 構成メンバー

現在、当研究所化学環境部 森田昌敏 部長を座長として、所内的に検討中。

（所内関係者のみで構成）

幹事は、当研究所地球環境研究センター 植弘崇嗣 研究管理官

－ 生物モニタリング分科会 －

・ 構成メンバー

現在、当研究所生物圏環境部 安野正之 上席研究官（地球環境研究グループ併任）を座長として、所内的に検討中（所内関係者のみで構成）。

幹事は、当研究所生物圏環境部 渡辺信 室長

現在、同分科会をさらにいくつかの専門分科会に分けて検討していくことを構想中。

② その他

スーパーコンピュータ有効利用検討会

平成2年度の「地球環境研究推進のためのスーパーコンピュータの最適利用システムの検討に関する調査」の中で設置した、「スーパーコンピュータ有効利用検討会」は、地球環境研究センターに導入するスーパーコンピュータの使用対象及び共同利用方法等について検討を行った。

・ 開催回数 2回

・ 構成メンバー

秋元 肇（国立環境研究所地球環境研究グループ統括研究官）

遠藤 昌宏（気象研究所海洋研究部室長）

杉ノ原伸夫（東京大学理学部助教授）

住 明正（東京大学理学部助教授）

時岡 達志（気象研究所気候研究部室長）

林 正憲（公害資源研究所立地環境部）

座長 松野 太郎（東京大学気候システム研究センター所長）

米本 武（㈱三菱総合研究所計算センター副センター長）

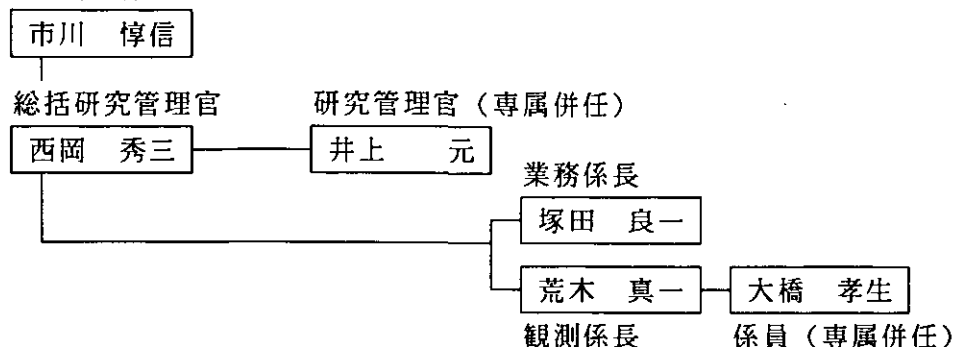
(6) 職員構成

地球環境研究センター準備室構成員（平成2年7月）

職名	氏 名	役 職 名
室長	西岡 秀三	社会環境システム部資源管理研究室長
室員	井上 元	大気圏環境部大気動態研究室長
〃	安岡 善文	社会環境システム部情報解析研究室長
〃	森田 恒幸	地球環境研究グループ温暖化影響対策チーム総合研究官
〃	植弘 崇嗣	主任研究企画官付研究企画官
〃	内山 政弘	大気圏環境部大気動態研究室主任研究員
〃	中根 英昭	地球環境研究グループオゾン層研究チーム主任研究員
〃	原島 省	地球環境研究グループ海洋研究チーム主任研究員
〃	森口 祐一	地域環境研究グループ交通公害防止研究チーム研究員
〃	中野 安則	総務部総務課課長補佐
〃	平尾 良則	総務部会計課長補佐
〃	海野 英明	環境情報センター情報整備室数値情報専門官
〃	塚田 良一	主任研究企画官付
〃	大橋 孝生	主任研究企画官付

<地球環境研究センター職員構成（平成2年10月）>

地球環境研究センター長

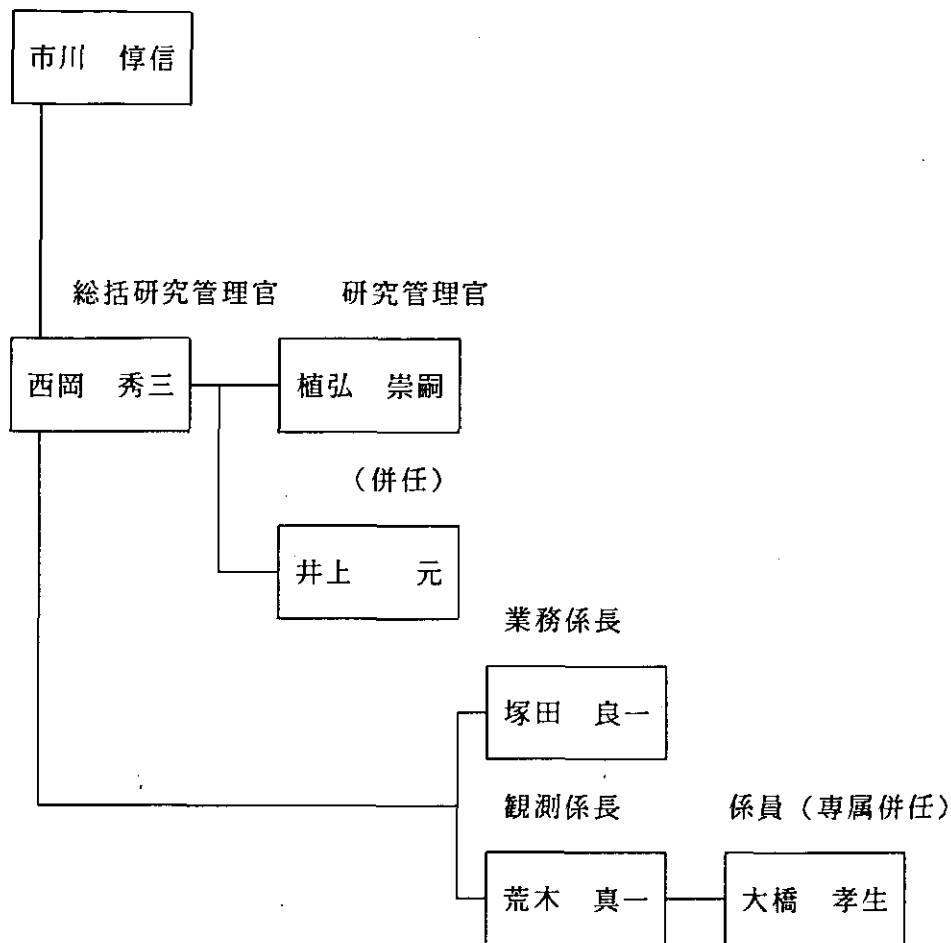


<地球環境研究センター併任職員（平成2年10月）>

業務名	併任
研究支援 <デスク・オフィス業務>	地球環境研究 G：森田恒幸（温暖化影響対策） 甲斐沼美紀子（地球温暖化影響対策） 地域環境研究 G：中杉修身（有害廃棄物対策） 松本幸雄（環境統計） 森口祐一（交通公害） 社会環境システム部：安岡善文（情報解析） 水圏環境部：恒川篤史（土壌環境） 環境情報センター：阿部重信（情報管理） 海野英明（情報整備）
<スーパーコンピュータ>	地球環境研究 G：原島 省（海洋研究） 社会環境システム部：安岡善文（交通公害防止） 環境情報センター：阿部重信（情報管理） 海野英明（情報整備）
総合化研究	地球環境研究 G：森田恒幸（温暖化影響対策） 甲斐沼美紀子（地球温暖化影響対策） 地域環境研究 G：森口祐一（交通公害防止）
モニタリング業務	地球環境研究 G：野尻幸宏（温暖化現象解明） 中根英昭（オゾン層） 原島 省（海洋） 大気圏環境部：泉 克幸（大気動態） 内山政弘（大気動態） 生物圏環境部：大政謙次（環境植物） 渡辺 信（環境微生物）

<地球環境研究センター職員構成（平成3年4月）>

地球環境研究センター長



<地球環境研究センター併任者・協力研究員一覧（平成3年10月）>

業務名	併任者（アソシエイト）・協力研究員
研究支援 <データベース業務>	地球環境研究 G：森田恒幸（温暖化影響対策） 甲斐沼美紀子（温暖化影響対策） 宮崎忠国（森林減少・砂漠化） 奥田敏統（野生生物保全） 地域環境研究 G：清水 浩（交通公害防止） 森口祐一（交通公害防止） 中杉修身（有害廃棄物対策） 松本幸雄（環境統計手法）

<p><スーパーコンピュータ></p>	<p>社会環境システム部：小野宏哉（環境経済）原沢英夫（資源管理） 天野耕二（資源管理）森 保文（資源管理） <u>安岡善文</u>（情報解析）山形与志樹（情報解析）</p> <p>水圏環境部：恒川篤志（土壌環境）</p> <p>環境情報センター：阿部重信（情報管理）</p> <p>社会環境システム部：安岡善文（情報解析）須賀伸介（情報解析）</p> <p>大気圏環境部：光本茂記（大気物理）鈴木 睦（高層大気）</p> <p>環境情報センター：阿部重信（情報管理）</p>
<p>総合化研究</p>	<p>地球環境研究G：森田恒幸（温暖化影響対策） <u>甲斐沼美紀子</u>（温暖化影響対策） 増田啓子（温暖化影響対策）</p> <p>地域環境研究G：森口祐一（交通公害防止）</p> <p>社会環境システム部：小野宏哉（環境経済）原沢英夫（資源管理）</p> <p>水圏環境部：恒川篤志（土壌環境）</p>
<p>モニタリング業務 <成層圏> <対流圏> <海洋> <陸水> <生物></p>	<p>大気圏環境部：井上 元（大気動態）</p> <p>地球環境研究G：中根英昭（成層圏）笹野泰弘（成層圏） 林田佐智子（成層圏）松井一郎（大気動態）</p> <p>地球環境研究G：横内陽子（温暖化現象解明） 村野健太郎（酸性雨）</p> <p>化学環境部：向井人史（計測技術）西川雅高（計測管理）</p> <p>大気圏環境部：泉 克幸（大気動態）<u>内山政弘</u>（大気動態）</p> <p>水圏環境部：細見正明（土壌環境）</p> <p>地球環境研究G：野尻幸宏（温暖化現象解明） <u>原島 省</u>（海洋）</p> <p>地域環境研究G：木幡邦男（海域保全）</p> <p>地域環境研究G：河合崇欣（酸性雨）</p> <p>化学環境部：森田昌敏（部長）</p> <p>水圏環境部：矢木修身（水環境質）海老瀬潜一（水環境工学） 高松武次郎（土壌環境）</p> <p>化学環境部：彼谷邦光（化学毒性）</p> <p>生物圏環境部：大政謙次（環境植物）<u>渡辺 信</u>（環境微生物） 岩熊敏夫（生態機構）</p>

(7) 関係規程

国立環境研究所組織規則（平成2.6.30総理府令第33号）

（一部抜粋）

（平成3.4.12総理府令第25号、一部改正）

（内部組織）

第3条

2 前項に掲げるもののほか、研究所に地球環境研究センター及び環境研修センターを置く。

（地球環境研究センター）

第16条 地球環境研究センターにおいては、地球環境の保全（環境庁組織令（昭和46年政令第219号）第19条2第2号に規定するものをいう。）に関し、総合的な試験研究及び観測その他の調査に係る業務並びにこれらの推進のために必要な関係試験研究機関等との連絡協力並びに国内及び国外の資料の収集及び整理に関する事務をつかさどる。

（地球環境研究センター長）

第17条 地球環境研究センターに、地球環境研究センター長を置き、副所長をもって充てる。

2 地球環境研究センター長は、上司の命を受けて、地球環境研究センターの事務及び業務を掌理する。

（総括研究管理官）

第18条 地球環境研究センターに総括研究管理官1人を置く。

2 総括研究管理官は、上司の命を受けて、地球環境研究センターの試験研究及び調査に係る業務並びにこれらに係る事務を総括する。

（客員研究官）

第19条 地球環境研究センターに、客員研究官を置く。

2 客員研究官は、上司の命を受けて、地球環境研究センターの試験研究又は調査に係る業務に参画する。

3 客員研究官は、非常勤とする。

(8) センターの沿革

1990. 4. 1	国立環境研究所準備委員会において地球環境研究センターの準備業務についてワーキンググループを設置	
4. 26	スーパーコンピュータ・所内検討ワーキンググループ発足（第1回会合）	
5. 14	地上モニタリング基地設置候補地選定のため沖縄県へ現地視察（～18）	
6. 13	地上モニタリング基地設置候補地選定のため、利尻、礼文、津軽半島へ現地視察（～18）	ネットワーキング会合
6. 15	スーパーコンピュータ検討ワーキンググループ第2回会合	
7. 1	地球環境研究センター準備室発足	
7. 4	スーパーコンピュータ検討ワーキンググループ第3回会合	
7. 5	紫外線モニタリングセミナー	
7. 6	CO ₂ , CFCモニタリングセミナー	
7. 18	第1回地球環境研究センター運営準備委員会開催	
8. 7	第1回 スーパーコンピュータ有効利用検討会開催	
8. 21	地上モニタリングに係わる沖縄県西表島調査（～27）	
8. 25	地球環境研究センター準備室長 西岡秀三 地球温暖化問題状況調査及び温暖化対応策検討会議 スウェーデン・オーストリアに出張（～9. 9）	
8. 27	第2回 スーパーコンピュータ有効利用検討会開催	
9. 25	温室効果ガス排出量モニタリングに関する北海道、兵庫県各関係者と打ち合わせ	
9. 27	環境庁本庁内にて「地球環境研究センター発足」に関する記者発表	
10. 1	地球環境研究センター発足 地球環境研究センター発足記念式典	
10. 2	官報公告「スーパーコンピュータ資料提供招請に関する公表」	
10. 5	第2回地球環境研究センター運営準備委員会開催	
10. 24	スーパーコンピュータ導入説明会	
10. 25	幸田シヰ子女史、地球環境研究センター訪問	
10. 26	地球環境研究センター開所記念講演会	
10. 29	地球環境研究センター総括研究管理官 西岡秀三「第2回 世界気候会議」へ出席のため、海外出張	10/27～11/3 第2回 世界気候会議
11. 15	平成2年度第1回日韓フュージョンモニタリング分科会開催	
11. 19	ソ連国家自然保護委員会副委員長他使節団一行、地球環境研究センターを訪問	
11. 22	平成2年度第1回機器開発・精度管理分科会開催	
11. 26	ソ連中央地球物理観測所長 Mr. Berlyand博士 環境研セミナーにて講演	
12. 2	地球環境研究センター総括研究管理官 西岡秀三 「全米地理学会IPCC報告会議」へ出席のため、海外出張（～9）	

12. 4	前韓国厚生大臣他地球環境研究センター訪問	
12. 5	フィリピン環境大臣他地球環境研究センター訪問	
12. 6	第1回西表観測所分科会開催	
12.20	地球環境研究総合推進費による「地球環境研究連絡会議」開催 「第1回地球環境研究交流者会議 －GLOBAL ENVIRONMENT-TSUKUBA 1990」開催	1990 12.28 仕事納め
1991. 1. 4	第1回 スーパーコンピュータ検討会開催	1991 1. 4 仕事初め
1. 9	地球環境モニタリングステーション建設計画に伴い、地球環境研究センター長 沖縄県を表敬訪問(～12)	
1.10	第2回西表観測所分科会開催(沖縄県)	
12	第2回機器開発・精度管理分科会開催(沖縄県)	
1.17	資料提供招請に関する公表(官報公告)	
1.10	地球環境研究センター総括研究管理官 西岡秀三	
～15	「気候変動に関するドイツ財団会議」出席のため英国へ出張	1.16 湾岸戦争勃発
1.22	愛知和男環境庁長官 国立環境研究所視察	
1.23	第1回サロウ観測所分科会開催(北海道)	
1.31	第1回発生源モニタリング分科会開催	
2. 1	第1回生物モニタリング連絡会議開催	
2. 4	第1回成層圏モニタリング連絡会議開催	
2. 5	第2回スーパーコンピュータ検討会開催	
2. 8	スーパーコンピュータ導入説明会	気候変動に関 する条約 会議スタート
2.13	第1回航空機モニタリング分科会開催	
2.16	第1回外洋モニタリング検討会開催	
2.19	第3回スーパーコンピュータ検討会開催	
3. 1	第4回スーパーコンピュータ検討会開催	
3. 3	第3回西表観測所分科会開催(沖縄県；～6)	
3. 4	第5回スーパーコンピュータ検討会開催	
3. 5	第2回航空機モニタリング分科会開催	
3. 6	地球環境研究センター総括研究管理官 西岡秀三(ケニア/スイス) UNEP GEMS/GRID打ち合わせ及びIPCC会議出席	
3. 7	第2回発生源モニタリング分科会開催	
3. 8	第2回日韓フェリー分科会開催	
3.14	第3回日韓フェリー分科会開催	
3.16	第2回外洋モニタリング検討会	
3.18	沖縄県波照間島におけるステーション建設のための沖縄県開発庁職員ら による現地調査(～19) アジア・太平洋地域における地球温暖化問題に関する研究ワークショップ 開催(当研究所内；～20)	
3.27	第2回サロウ観測所分科会開催	

平成3年度

- 4. 4 第6回スハ・コンピュタ検討会開催
- 4.10 地球環境研究センター総括研究管理官 西岡秀三 国連大学;GLOBAL ENVIRONMENT AND HUMAN HEALTH研究研修センター設立に関する会議出席(～14)(ハリ)
- 4.12 スハ・コンピュタ仕様書説明会
- 4.17 UNEP/GRID H. Croze調整官、ハソコセンター G. Johnson所長、乙間専門官訪問
- 5. 2 インドネシア人口・環境大臣 杉里夫妻訪問
- 5. 7 平成3年度第1回地球環境研究等企画委員会モニタリング小委員会及び研究小委員会開催
- 5. 8 平成3年度第1回波照間観測所専門分科会開催(～11)
- 5.10 平成3年度第1回地球環境研究等企画委員会開催
- 5.13 平成3年度第1回北域観測所専門分科会開催(～16)
- 5.15 ヲツク永久凍土研究所カンスキ-所長らとソハリアマツ研究についての打ち合せ会議
- 5.21 地球環境研究センター総括研究管理官 西岡秀三
- ～23 地域環境研究グループ研究員 森口祐一
カタ政府・OECD「21世紀の環境情報」国際フォーラム出席
- 5.24 国立環境研究所 地球環境研究グループ温暖化影響・対策研究チーム
- ～26 総合研究官 森田恒幸 ハワイ・ホノルル「地球環境変化に関する社会科学的研究のためのデーターベースについてのアジア太平洋会議」に出席
- 5.29 第回UNEP管理理事会(タイロト)において、地球環境研究センターに、GRID-Tsukubaのセンターを設置することを正式に決定
- 6. 4 第7回スハ・コンピュタ検討会開催
- 6. 5 国立環境研究所研究発表会において西岡総括研究管理官発表
- 6. 6 研究所一般公開において、地球環境データ表示システムを紹介
- 6. 6 C.W.ニコル氏環境研にて特別講演
- 6.10 国立環境研究所地球環境研究グループ温暖化影響・対策研究チーム
総合研究官 森田恒幸 タイ・バンコク「地球温暖化と持続的発展に関する国際会議」に出席(～12)
- 6.11 第8回スハ・コンピュタ検討会開催
- 6.12 地球環境研究センター総括研究管理官 西岡秀三 カタ「都市と地球環境のシンポジウム」に出席。また、米国 GRID-Sioux Falls, EROS Data Center訪問
- 6.26 環境及び経済に関する全国円卓会議(カタ政府の招聘により)
日本の環境保全技術について講演(統括研究管理官 西岡秀三)
- 6.27 地球環境研究グループ温暖化影響対策研究チーム 森田恒幸
OECD「取引可能な排出権に関するワークショップ」に出席(～28)
- 6.28 平成3年度第1回日韓フェリ-専門分科会開催
スハ・コンピュタ入札公告(官報公告)

4.22 アースデー

- 7. 2 平成3年度第1回発生源モデリング専門分科会開催
- 7. 8 平成3年度第3回波照間観測所専門分科会開催
スーパーコンピュータ入札説明会
- 7.10 湿原におけるメタン発生源調査についての打ち合わせ会議開催
- 7.18 スーパーコンピュータ入札説明会
- 7.22 地球環境研究グループ温暖化影響対策研究チーム 主任研究員
甲斐沼美紀子 オーストリア IASA「地球環境モデリングに関する
意見交換」に出席（～26）
- 7.23 国立環境研究所地球環境研究グループ温暖化影響・対策研究チーム
総合研究官 森田恒幸 経済企画庁「自然資源勘定に関する
ワークショップ」にて講演
- 8. 1 第1回スーパーコンピュータ技術審査会開催
- 8. 4 西岡秀三総括研究管理官、IPCC 第3作業部会、ビューロー会議、
第2作業部会議に出席（～13）
- 8. 5 波照間ステーションの建設に係る打合せ会議（沖縄開発庁担当官と）
- 8.12 第2回スーパーコンピュータ技術審査会開催
- 8.16 第3回スーパーコンピュータ技術審査会開催
- 8.17 スーパーコンピュータ開札 NEC SX-3モデル14システムの導入決定
- 8.19 スーパーコンピュータ開札結果の記者発表
- 8.30 独連邦地球変動事務局 Dr. Lange が当センターを訪問
- 9.10 チャーチー前英国首相 国立環境研究所訪問
- 9.17 平成3年度第4回波照間観測所専門分科会開催
- 9.20 西岡秀三総括研究管理官 参議院外交・総合安全保証調査会で
地球環境問題に関する意見陳述
- 9.24 AWI Youth Leadership Development Program and Faculty
Exchange 地球環境研究センターを訪問

リ連ク-テ-タ-